

## 共済懇談会における主な意見と要望について

本組合独自の事業であります共済懇談会は、「組合員の方に共済事業の内容と現状をご理解いただき、共済制度を有効活用していただくこと」、また、「懇談会を通じて、組合員の方から各事業に対するご意見やご要望をいただき、今後の事業運営に反映させること」を目的として毎年度開催させていただいており、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、3年ぶりに県内4会場において対面方式で開催し、総勢199名の組合員の皆様にご出席いただきました。

ご出席いただきました多くの組合員の方、また、開催にあたりご理解、ご協力をいただきました各所属所共済事務担当者の皆様に改めて心より御礼を申し上げます。

当日は、共済制度の柱である医療、年金、福祉の各事業の概要をご説明申し上げた後に、組合員皆様から共済制度全般に係る貴重なご意見・ご要望(事前・当日)について、各選挙区選出の職員側議員の方々を中心にご回答をさせていただきましたが、去る10月25日に開催された職員側議員協議会において、各会場から寄せられた全てのご意見・ご要望について議員の皆様を検証していただきました。

今後は、令和5年度予算編成時期に更に協議を重ね、今後の事業における実施可否について判断いただく運びとなっております。

なお、今年度、組合員皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望に係るご回答について、一部ではありますがご報告させていただきます。

また、共済懇談会資料及び職員側議員協議会における検討状況については、本組合ホームページに掲載させていただきましたので、是非、ご覧いただき、ご質問等ございましたら担当課へお問い合わせくださるようお願いいたします。

### 共済懇談会 会場一覧表

開催日	選挙区	議員	開催場所	参加人数
9月21日(水)	第4区	堀部 信和(久喜市) 西岡 英児(吉川市)	ふれあいキューブ 1階ホール	34名
9月26日(月)	第2区	半貫 芳男(狭山市) 山本 一人(所沢市) 高橋 圭介(富士見市)	川越プリンスホテル 3階プリンスホール	40名
10月4日(火)	第3区 第5区	坂本 善雄(深谷市) 市川 聡一(秩父市)	キングアンバサダーホテル熊谷 3階プリンス&プリンセス	49名
10月6日(木)	第1区	國分 政義(さいたま市) 尾熊 純(川口市) 武山 裕也(上尾市)	さいたま共済会館 6階ホール	76名
<b>合計</b>				199名

## 短期給付関係

**Q** 保険証の切替時に誤って旧保険証を使用し、保険給付分(医療費の7割分)の返還額が高額になった場合は、組合員に請求するのではなく保険者間で直接やり取りしてもらいたい。

**A** 組合員及び被扶養者が資格喪失後に誤って旧保険証等で医療機関を受診してしまった場合における医療費の返還については、原則、組合員から徴収することとされております。

ただし、組合員等と旧保険者間で受領委任がなされている場合は、保険者間での調整が可能です。

保険者間での調整を希望される方は、保険課までご連絡ください。

## 長期給付関係

**Q** 定年の引上げに伴う年金保険料の納付期間と年金支給額への反映について教えてください。

**A** 定年の引上げに伴い、60歳以降もフルタイムの勤務が継続しますので、その期間は引き続き共済組合に厚生年金保険料と退職等年金掛金を納めていただくこととなり、共済組合から支給される年金支給額(老齢厚生年金及び退職年金(退職等年金給付))に反映されることとなります。



國分議員(さいたま会場)



坂本議員(熊谷会場)

## 福祉事業関係

### 1 保健事業関係

**Q** 人間ドックの補助金を増額してほしい。

**A** 人間ドックの補助金の増額については、保健事業検討委員会等において慎重に検討してまいります。



堀部議員(春日部会場)



西岡議員(春日部会場)

**Q** 人間ドックの検査料を全額補助してほしい。

**A** 限られた予算の中で人間ドックの検査料を全額補助することについては、保健経理財政や他の保健事業に大きな影響を及ぼすことから難しいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

**Q** 硬式テニス大会を復活させてほしい。

**A** 硬式テニス大会については、参加申込者の減少により平成23年度に開催を取りやめたところですが、仮に再開する場合は、会場の確保や新たな運営団体(審判等を委託する連盟等)の調整などの課題が数多くあることから、現時点において再開は難しいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

**Q** えらべる倶楽部を利用できる施設(飲食店、宿泊施設、スポーツジムなど)を増やしてほしい。

**A** 具体的な施設名を教えていただけましたら、委託会社において優先的に交渉させていただきます。

また、引き続き契約施設の拡充について努めてまいります。



半貫議員(川越会場)



山本議員(川越会場)

**Q** えらべる倶楽部を廃止し、以前行っていた「その他の宿泊施設利用助成」のように組合員が年1回、どの宿泊施設を利用したとしても3,000円補助するような制度に変更してほしい。

**A** アウトソーシング事業については、保健経理における厳しい財政状況を受け、平成21年度に事業費圧縮のために民間宿泊施設助成金の廃止や借り上げ施設の廃止などを行ったことに伴う影響を少しでも緩和する目的で導入した事業であります。

なお、事業の見直しを図った結果、保健経理財政は、徐々に回復し、その後、インフルエンザ予防接種助成の導入、歯科健康診査の導入、人間ドック・脳ドック・併診ドックの補助金の引き上げ、レクリエーション施設利用助成金の引き上げなどを行ってきたところですので、以前の宿泊助成制度に戻すことは、保健経理財政や他の保健事業に非常に大きな影響を及ぼすため難しいこと、また、本組合と契約がない宿泊施設を利用した際の助成は制度上できませんので、ご理解をお願いいたします。

## 2 貯金事業関係

**Q** 共済預金の限度額を引き上げてほしい。

**A** 貯金事業については、地方公務員等共済組合施行規程の定めにより、不測の事態に備えるための積立金（欠損金補てん積立金）を組合員貯金額の100分の5以上を積み立てなければならないこととなっています。

なお、超低金利時代という社会的背景から資金の運用利回りが低迷し、運用益である債券等の利息及び配当金の収入が毎年減少している一方で、組合員貯金額の増加に伴う支払利息が毎年増えている状況から、欠損金補てん積立金を100分の5積み立てるために共済預金の限度額を引き下げさせていただいたところですので、限度額を引き上げることは難しいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。



市川議員(熊谷会場)



高橋議員(川越会場)

**Q** 共済預金の利率を引き下げないでほしい。

**A** 今後も安定した貯金事業の運営を行うために共済預金の利率については、引き続き職員側議員協議会等において慎重に協議してまいります。

## 3 共済生活保険関係

**Q** 共済生活保険更新時の冊子について、簡素化もしくは配付の廃止をしてほしい。

**A** 共済生活保険の更新時に配付している冊子については、現在、委託保険会社においてペーパーレス化に向けた取り組みや「みんなのMYポータル」を活用した周知方法などの検討を開始したところです。

なお、冊子については、組合員に広く共済生活保険の制度を知っていただくという趣旨から未加入者も含めて全組合員に冊子を配付しているため、廃止の予定はしておりませんので、ご理解をお願いいたします。

## 福祉施設利用補助関係

**Q** レクリエーション券を自動券売機やオンライン申請でも利用できるようにしてほしい。

**A** レクリエーション施設助成については、施設の窓口を利用券を提出することで補助を受けられることとなっており、施設側では提出された利用券を取りまとめて共済組合に請求することから、施設窓口での事務が煩雑となることから自動券売機やオンライン申請等には対応できませんので、現行での利用方法にご理解をお願いいたします。

なお、レクリエーション施設助成のデジタル化につきまして、将来に向け引き続き検討して参ります。

**Q** レクリエーション施設利用の際の補助金額の引き上げをしてほしい。

**A** レクリエーション施設利用の補助金額の引き上げにつきましては、他の保健事業（人間ドック等）との兼ね合いもありますので、保健事業全体の中で検討させていただきます。

**Q** スキーの家(宿泊補助)の再開してほしい。

**A** スキーの家を含めた「夏季・冬季施設利用助成」、「夏季・冬季借上げ施設に係る宿泊補助」については、平成21年度に保健経理の財政を確保するために民間宿泊施設に対する助成事業を廃止し、福利厚生事業のアウトソーシングへ移行した経緯がございますので、再開のご要望は難しいと考えます。

なお、民間宿泊助成につきましては「えらべる倶楽部」で行っておりますので、ご活用いただければと存じます。



武山議員(さいたま会場)

## その他の事業関係

**Q** 「共済組合事務の手引き」について、各課単位で目次とページ数が振られているので、閲覧がしづらいつ感じます。目次とページ数を一つにまとめることはできないでしょうか。また、「共済事業のあらまし」のように索引などがあると、なお閲覧がしやすいと思います。

**A** 貴重なご意見ありがとうございます。「共済組合事務の手引き」については、仰るとおり課単位でページ等の割り振りを行っているため、見づらい面も否めません。令和4年度の作成は終了しておりますので、来年度作成の際には全体を通しての目次や索引などページ振りを行い、作成をしたいと思っております。



熊谷会場

**Q** 申込書、申請書などの提出について、電子化を進めてほしい。(他同様5件)

**A** オンライン申請などの電子化についてご要望をいただきました。この電子化については、共済組合においてもどのような申請書ができるのかなど、また、その方法も含めて模索をしながら研究を進めておりますが、現状の方法は所属所担当課を経由して、申請書等を共済組合にご提出いただいておりますので、直ぐに対応をすることは難しいと考えます。

今後もどのような形ができるのか引き続き研究をしてまいりますので、現状の申請方法にご理解をいただきたいと思っております。

**Q** 「共済事業のあらまし」を電子データにして共済組合のホームページに掲載してほしい。(他同様3件)

**A** 「共済事業のあらまし」を電子化してホームページへの掲載のご要望をいただきました。現在、共済組合ではホームページ運営委託業者と当該冊子のホームページ掲載について協議を進めておりますが、掲載したときのデータ容量(大きさ)やホームページ上での掲載(表示)の方法(検索機能等も含めて)など、また、ホームページのリニューアル対応も含めて多岐にわたり検証しておりますので、もうしばらくお待ちくださるようご理解をお願いいたします。

なお、ホームページでも「共済事業のあらまし」と同じ内容が網羅されており、冊子と同様にライフシーンに応じた検索が可能となっております。引き続きご利用いただきますようお願いいたします。



春日部会場